

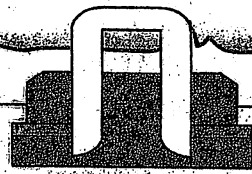
2011 夏季学習会

「方面地区ウラン残土撤去訴訟を通して」

～方面からフクシマを問う、そして…～

講師：榎本益美さん

(ウラン残土撤去訴訟原告)



日時：2011年8月20日(土) 一時間は下をご覧くださいー

主催：鳥取県教組中部支部・鳥取県高教組中部支部

テーマ：講演 「方面地区ウラン残土撤去訴訟を通して」
講師 榎本益美さん(ウラン残土撤去訴訟原告)

日程 受付 9:30
講演、質疑&意見交換 10:00~11:40

会場 湯梨浜町方面区公民館 (湯梨浜町高辻155-1)
(駐車場あり)

鳥取・岡山県境の人形峠周辺で1956～67年に原子燃料公社(現核燃料サイクル開発機構)のウラン採掘で掘り出された土砂約46万立方メートルが発生し、88年に存在が発覚した。ほとんどはそのまま土で覆って処理されたが、鳥取県湯梨浜町(旧東郷町)方面地区の自治会は、約3千立方メートルの撤去を求めて2000年11月提訴。02年6月、一審鳥取地裁は核然に全量撤去を命じる住民側勝訴の判決を言い渡した。その後、残土撤去が行われたものの残土を材料とするレンガへ加工する方法で処理することとなり、製造されたレンガは145万個を数える。このうち93万個は一般頒布されている。今年の6月30日をもって終了した。



榎本 益美さん

参加要請と参加報告について

◎ 参加報告を、7月29日(水)までに、別紙報告用紙にて、県教組中部支部まで報告して下さい。